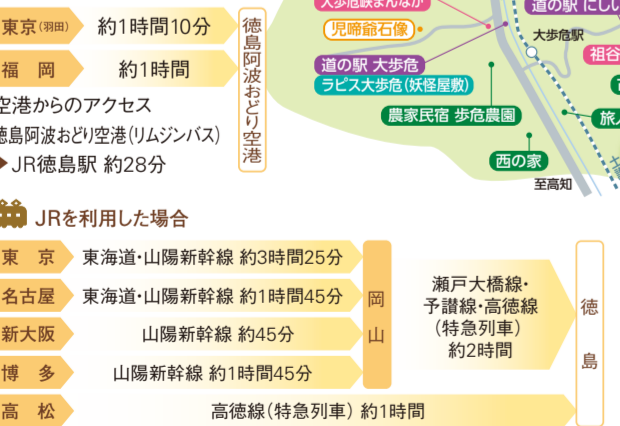


県内各地の特徴ある豊かな「農林水産業」や、それにつながる伝統的な「食」「景観」「伝統行事」などの「むらのたから」を活用した農山漁村の体験交流や観光の促進に取り組む地域を認定しました。

徳島発！ 輝く☆むらのたから



和田島

Wadajima

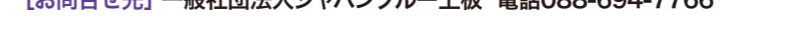
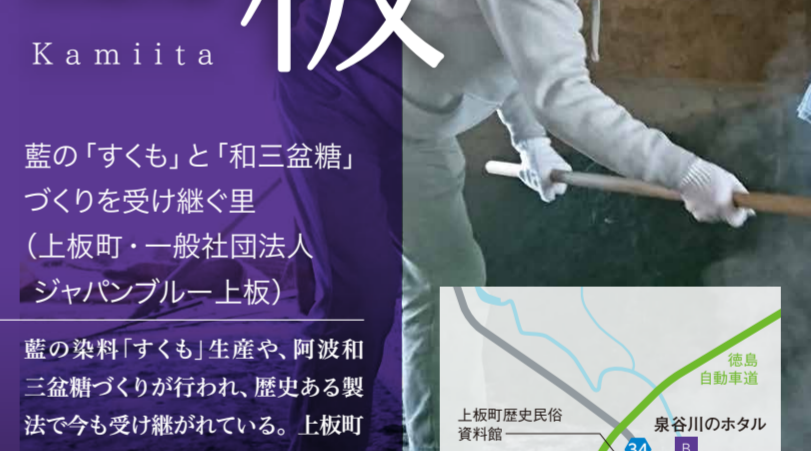
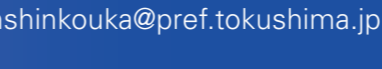
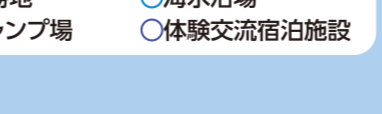
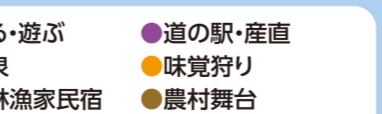
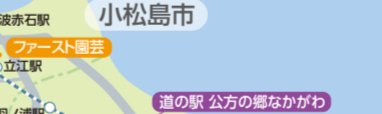
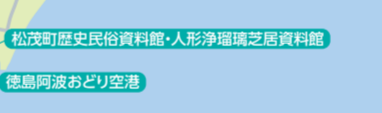
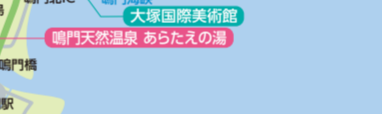
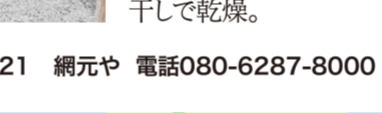
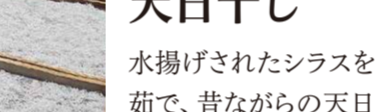
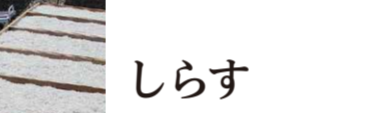
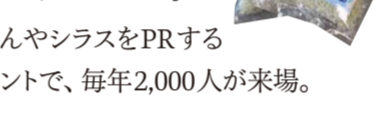
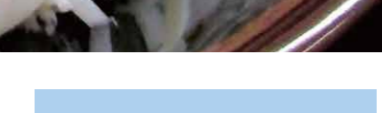
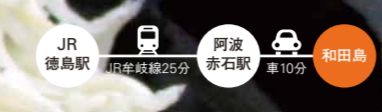
海に輝く白い宝石「和田島しらす」(和田島漁業協同組合女性部)
小松島市和田島は、紀伊水道を漁場とした県内屈指の「しらす」の産地。漁法はバッチ網漁法といわれ戦前に徳島県の漁師が考案しており、本県から他地域に広く普及した歴史がある。地元の海産物を使った料理や「しらす」を活用した各種イベント等により白い宝石「和田島しらす」を体感できる。



バッチ網漁法
網船(網を引く漁船)2隻と運搬船1隻の計3隻1組で効率的に漁獲する方法。



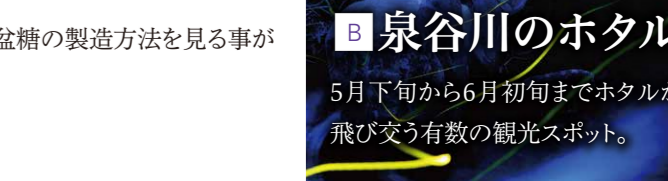
B 食堂「網元や」
しらすなど地元の海産物を使った料理を提供。営業は漁期期間の日曜日のみ(10~14時まで)



有瀬

絶景と山村食文化の里「あるせ」(生活改善グループ有瀬つくし会)

徳島県と高知県との県境の急斜面にあり、美しい絶景が広がる山村地域。昔ながらの地元の食材を活用した郷土料理のおもてなしと岩豆腐作りやこんにやく作りなど魅力的な体験を楽しめる。



茶畑 地域の基幹作物であり、傾斜地の保全や美しい景観資源となっている。一部で山茶と呼ばれるお茶の原種が自生している。

伝統料理 そばごめ ぞうすい だこまわし 岩豆腐 ちらし焼き

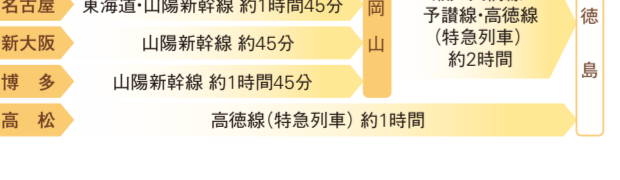
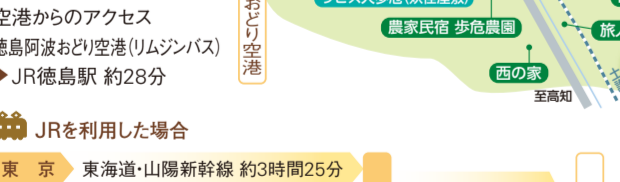
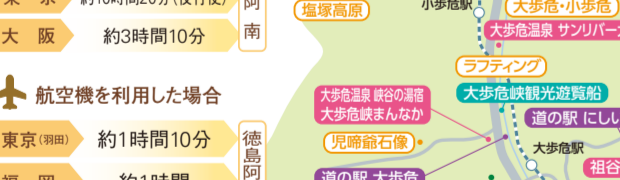
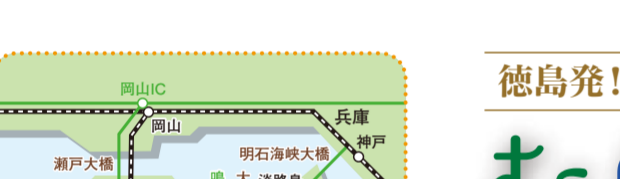
A 楽校の宿あるせ 廃校となった有瀬小学校の施設を再利用し、宿泊以外に体験、郷土料理等の食事のサービスを行っており、訪れた人々との交流の場となっている。

A 山茶カフェ 「楽校の宿あるせ」で定期的に開催。地元特産のお茶をふんだんに使ったドリンクやスイーツが楽しめる。

和島もちりめん市 特産のちりめんやシラスをPRする地域の大イベントで、毎年2,000人が来場。

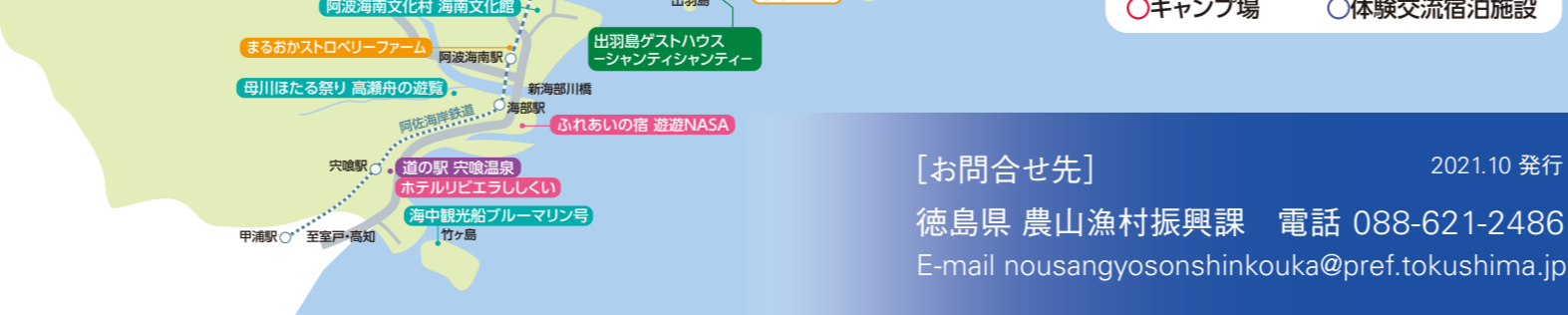
しらす 天日干し 水揚げされたシラスを茹で、昔ながらの天日干しで乾燥。

【お問合せ先】 生活改善グループ有瀬つくし会 電話0883-84-1337



徳島発！輝く☆むらのたからマップ

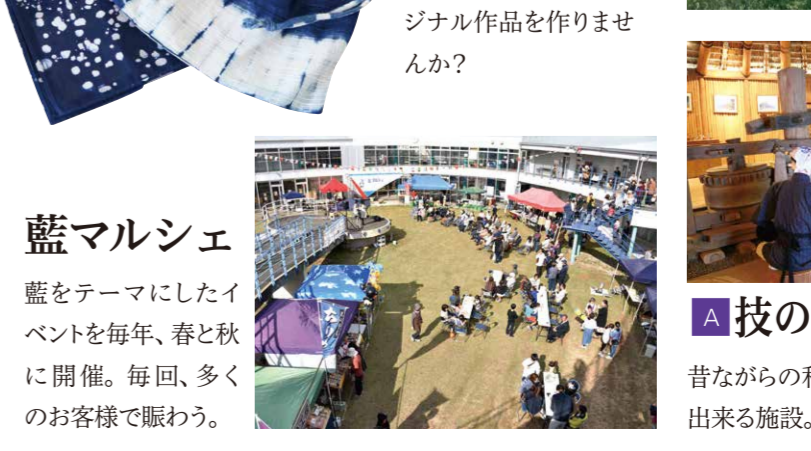
各地の「たから」を巡り、受け継がれてきた「伝統」や「文化」に触れてみてください。



上板

藍の「すくも」と「和三盆糖」づくりを受け継ぐ里(上板町・一般社団法人ジャパンプルー上板)

藍の染料「すくも」生産や、阿波和三盆糖づくりが行われ、歴史ある製法で今も受け継がれている。上板町では、「見て」「触れて」「感じる」多くの魅力ある体験を通して、新しい価値観を発見することが出来る。



A 藍染体験 「技術の館」に来れば、気軽に藍染体験が出来ます。ここで、世界にひとつだけのオリジナル作品を作ませんか？

和三盆糖 高級和菓子の原料である和三盆糖。

さとうきび畑 成長したさとうきは11月下旬から12月に収穫し、和三盆糖の原料となる。

A 技の館 砂糖のしめ小屋 昔ながらの和三盆糖の製造方法を見る事が出来る施設。

【お問合せ先】 一般社団法人ジャパンプルー上板 電話088-694-7766

【お問合せ先】 2021.10 発行
徳島県 農山漁村振興課 電話 088-621-2486
E-mail nousangyosonshinkouka@pref.tokushima.jp

美郷

Misato

キレイのさと美郷
(NPO法人美郷宝さがし探検隊)

かつて「青いダイヤ」と呼ばれた地域特産「梅」や400年の歴史を誇る「高開の石積み」、天然記念物「ホタル」などの「美郷の宝」を活かした四季折々のイベントにより、キレイのさとを体感できる。

【お問合せ先】 美郷はたる館 電話0883-43-2888

梅酒祭りでにぎわう酒蔵と農家民宿
11月開催。梅酒5蔵と郷土料理で梅酒を堪能。

善入寺島

Zennyujito

“阿波ベジ”の宝箱「善入寺島」
(吉野川善入寺土地改良区)

東西6km、南北1.2km、広さ約500haの国内最大の川中島。吉野川が運んだ肥沃な土壌で育まれた多種多様な野菜「阿波ベジ」が産直市を彩る。ナノハナやヒマワリなどの季節の花々が美しくロケの名所として知られる。

【お問合せ先】 阿波市役所農産振興課 電話0883-36-8721

湊名

Fuchimyo

風と和む天空の里「湊名」
(西洲農産加工研究会)

標高500mの湊名地域では、風光明媚な農村風景が山肌にも広がり、地域の四季折々の農産物を使った農家レストラン「風相里」からは吉野川や阿讃山脈、淡路島まで一望できるロケーションが楽しめる。

【お問合せ先】 西洲農産加工研究会(会長:小泉 靖雄) 電話0883-56-0550

B 高開の石積みライトアップ

12月開催。澄み切った冬の夜空に幻想的な石積みが見え上がる。

梅の花まつり

2月中旬～3月上旬開催。期間中は各梅園に売店が出るほか3月初旬には花見ウォークも開催。

A 高開の石積み芝桜まつり

石積みを保全する土留めとして植えられた芝桜。4月の開花に合わせて石積みウォークや写真コンテスト等を開催。

川遊び

夏になると、川では子供たちのしゃぐ声や水音が響く。

ホタル

国の天然記念物に指定されている美郷のホタル。

季節の花

3月ナノハナ、7月ヒマワリ、11月コスモスなどが見頃。

野菜畑

広大な畑では季節毎に様々な野菜が育つ。

潜水橋

善入寺島に渡るには5本の潜水橋のいずれかを渡らなければならない。

かんどり船

吉野川の漁師が使う木造船。夏の鮎漁が風物詩である。

そばの花畑

傾斜畑で栽培される「そば」の花。11月頃が見頃。

A 農家レストラン「ふわり」

景色を楽しみながら旬の地元野菜たっぷりの料理がいただける。

傾斜地の農村風景

先人から受け継がれた傾斜地の暮らしが、独特の景観を形成している。

茶畑

等高線状に茶樹が植栽され、美しい景観を織りなす。

上勝

Kamikatsu

黄金色に香る「上勝阿波晩茶」(上勝町・一般社団法人上勝阿波晩茶協会)

800年前から変わらぬ製法で受け継がれてきた、世界でも珍しい乳酸発酵させた上勝阿波晩茶。町全域を会場とした「上勝晩茶まつり」や茶摘み体験などで「晩茶」の魅力に多くの人に触れてもらい、この「伝統」と「文化」を未来へ伝えていく。

【お問合せ先】 上勝町役場産課 電話0885-46-0111

木頭

Kito

受け継ぐ伝統技術「木頭杉の一本乗り」(那賀町・木頭杉の一本乗り保存会)

古くから良質の杉材を産出する「木頭林業地帯」において、昭和10年代～30年頃にかけ行われていた、山から切り出した丸太材を川の流れに乗せ下流へ運ぶ「一本乗り」をイベントとして復活させ、技術の継承とにぎわいを創出している。

【お問合せ先】 那賀町役場木頭支所 電話0884-68-2311

内野

Uchino

四季が彩る“うちの”田舎暮らし(東みよし町内野集落協定)

山椒が群生する標高300～400mの山々は、新緑、紅葉、雪景色と季節毎に美しい景観が広がり、代々家庭の味が伝承された郷土料理や自然の恵みである「ジビエ料理」など、農山村の「ありのままの暮らし」を満喫できる。

【お問合せ先】 東みよし町内野集落協定(代表:木下 正雄) 電話0883-79-5226

上勝晩茶まつり

9月末頃に開催。町全体がイベント会場となり、飲食店や民宿で新茶飲み比べや晩茶ランチの提供がある。

晩茶生産過程

晩茶づくりは6～8月にかけ、ほとんど手作業で行われる。

A 上勝町の棚田

上勝阿波晩茶発祥の地とされる「田野々の棚田」、日本の棚田百選「椋原の棚田」などの稀少な棚田が町内各所に残り、幻想的な景観を形成しながら、農業生産の基盤としての役割を担う。

茶摘み、釜茹で、茶揉り

茶摘み、釜茹で、茶揉り

ガロ

大会マスコット。木頭地区の清流に棲むと伝えられる陽気な川妖怪。

A 木頭杉一本乗り大会

7月開催。動く丸太の上に立つのは至難の業。大会前には一本乗り名人による講習会もあり。

B 木頭出原谷の鉄砲堰

水量の少ない沢から木材を一気に押し流すために使われていた石積みの鉄砲堰。(公財)土木学会選奨土木遺産にも認定されている。

昔の川流し風景

かつては各地の林業地帯で見られた光景だが、その技術を今に伝えるのは「木頭杉一本乗り」だけと言われる。

森林、木材

温暖多雨で杉の生育に適した日本有数の林業地帯となっている。

郷土料理

地域で採れた農作物や捕獲した「イノシシ」、「シカ」をいただく山暮らしの食文化を体験できる。

コエグロ、傾斜地農業の風景

そば、夏野菜や梅、柿などの多種の農作物が伝統的な「にし阿波の傾斜地農耕システム(2018年世界農業遺産認定)」により栽培。

山肌に広がる集落風景

険しい山々の中腹に形成された家屋や畑などが一体となった景観は、懐かしい日本の原風景のよう。

東山の節句まつり

2月下旬～3月上旬に旧東山小学校にて開催。おひな様のほか五月人形も飾られる。